

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)
I型(日経平均株価)

2011年度 (2011年4月～2012年3月) 特別勘定の現況 決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の株価指数連動追加年金のお支払のための資産は、特別勘定で運用を行います。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の特別勘定の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。また、本保険契約の「I型」または「特別勘定」単位の情報を掲載しております。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2011年4月～2012年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2011年4月～2012年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比▲1.73%下落の854.35ポイント(前期末は869.38ポイント)で終了しました。4月は、原発事故収束見通しの不透明感から下落基調が続き、米国景気の減速懸念やギリシャの財政懸念などから6月中旬頃まで軟調な推移となりました。その後ギリシャの財政懸念の後退などにより上昇しましたが、8月に入ると米ドル/円為替で一時、75円台をつけるなど円高が続き、下落しました。11月にはイタリアの長期国債利回りが一時7%を上回るなど信用不安が拡大し、大幅に下落しました。1月から3月にかけては欧州債務不安が和らいだことや円安の進行などにより上昇基調で推移しました。業種別(東証33業種)では、日本たばこ産業が増益となった「食料品」(前期末比+20.56%)が最も上昇した一方、任天堂が減収減益となった「その他製品」(同▲25.58%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+7.24%上昇の13,212.04ドル(前期末は12,319.73ドル)で終了しました。8月上旬には米国債の格下げや欧州債務問題の深刻化などを背景に大幅安となりました。その後10月に、好調な米経済指標の発表やEU首脳会議での債務問題に関する包括戦略合意などを受けて大幅に上昇しました。1月以降はギリシャ債務削減交渉の進展やFOMC(米連邦公開市場委員会)が景気判断を上方修正したことなどを背景に、上昇基調で推移しました。欧州株式市場は、下落しました。欧州債務問題をめぐる進退などを背景に、期中は概ね米国と同様の動きとなりました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比▲2.37%下落、仏CAC40は同▲14.17%下落、独DAXは同▲1.34%下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利上昇の後低下基調で推移しました。新発10年国債利回りは0.985%となりました(前期末は1.255%)。4月は、東日本大震災の復興・復旧に向けた政策が意識される中、財源として国債の増発が警戒されたことなどから、金利は1.3%台へ上昇しました。その後株価が弱含みに転じたことなどから、金利は低下基調で推移しました。7月は、株価の堅調な推移などから、金利は1.1%台後半に上昇しましたが、米国景気の減速懸念を受けて株式市場が軟調な推移となったことから低下基調が続きました。10月以降は欧州債務問題をめぐる進退などから揉み合いで推移しました。日銀は、政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を年0.0%から0～0.1%程度で推移するよう金融市場調整を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、大幅に金利が低下しました。米10年国債利回りは2.209%となりました(前期末は3.470%)。8月には、FRB(米連邦準備制度理事會)が超低金利政策を継続する決定をしたことや、欧州債務問題の深刻化などから金利は低下しました。その後は欧州債務問題をめぐる進退などから揉み合いで推移しました。欧州債券市場は、大幅に金利が低下しました。独10年国債利回りは1.794%となりました(前期末は3.354%)。7月下旬以降、欧州債務問題の深刻化を受けて、独国債がリスク回避資金の受け皿となったことから金利は低下しました。その後は欧州債務問題をめぐる進退などから揉み合いで推移しました。FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00%～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は4月と7月に政策金利を0.25%ずつ引き上げ、年1.50%としましたが、11月と12月には0.25%ずつ引き下げ、年1.00%としました。

【外国為替市場】

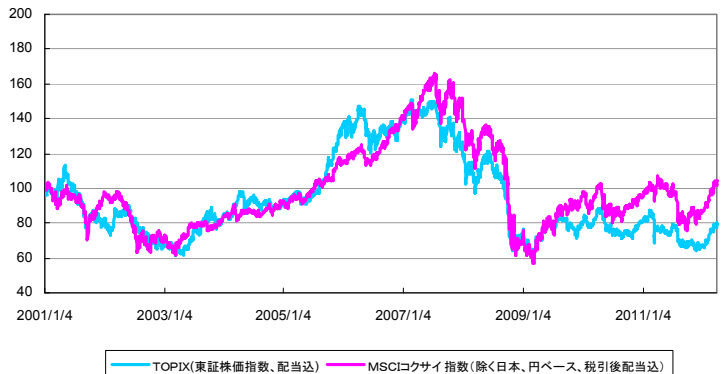
外国為替市場は、円高基調で推移した後、期後半にかけ円安基調で推移しました。米ドル/円相場は、前期末比96銭(+1.15%)円高ドル安の1ドル=82円19銭となりました。4月上旬に米国景気回復期待から一時円安にふれた後、10月頃までは、米国連邦債務の上限問題に係る協議の難航やFRBによる超低金利政策の長期化などから円高基調で推移しました。2月中旬以降は、米国株式市場が堅調だったことや日銀による追加金融緩和と政策の決定などを受け、円安基調で推移しました。ユーロ/円相場は、前期末比7円77銭(+6.61%)円高ユーロ安の1ユーロ=109円80銭となりました。ギリシャの財政懸念が強まったことなどからリスク回避の動きが強まり、円高基調で推移した後、10月の欧州各国による包括戦略の合意などから円安にふれる局面がありました。その後は欧州債務問題の深刻化などから再び円高基調で推移しましたが、2月のギリシャへの追加金融支援策合意などから欧州債務懸念が和らぎ、期末にかけて円安が進行しました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

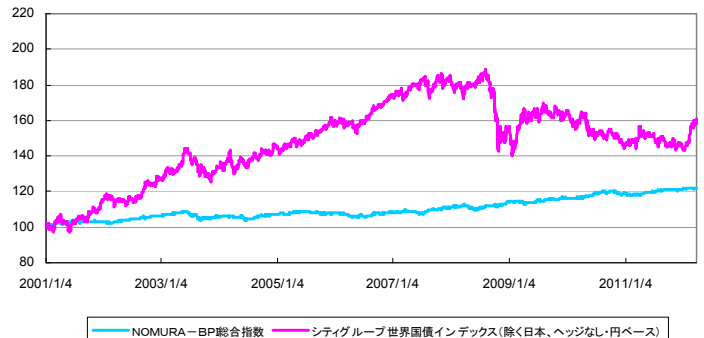
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

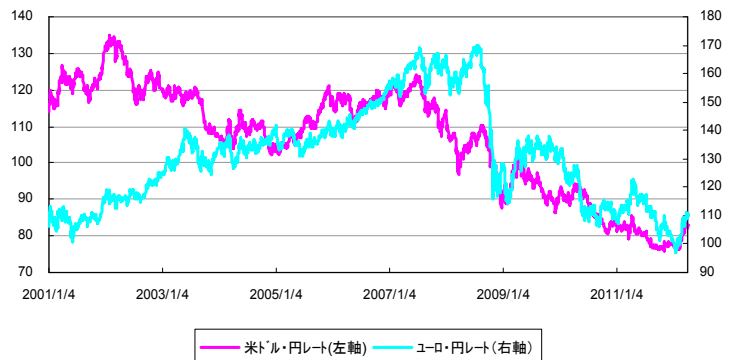


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2011年4月～2012年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定の運用方針について

【資産運用に係る基本的性格】

- ◆ この保険の株価指数連動追加年金のお支払いのための資産は、資産運用の成果が、株価指数連動追加年金額の増減につながるため、この保険の基本年金のお支払いのための資産(米国債券などの公社債を主な運用対象とし一般勘定で運用します。)および他の保険種類の資産とは区分して管理・運用を行なう必要があります。そのため当社は特別勘定を設け、特別勘定資産を他の資産とは独立した体制と方針に基づき運用します。
- ◆ 特別勘定は、ご契約日を同一とすることにご契約ごとに設定します。
- ◆ 特別勘定資産の運用は一定の収益も期待できますが、一方で対象株価指数の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る、または全くない場合があります。特別勘定資産の運用結果は、株価指数連動追加年金原資額および積立金額に直接反映されることから、資産運用の成果と投資リスクがともにご契約者に帰属することになります。

【目的と運用方針】

- ◆ 据置期間(ご契約日から10年間)満了までご契約を継続するご契約者に対して、所定の株価指数の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資を基本年金原資に上乘せすることを目的とし、これを運用方針とします。

米ドル・円 外国為替市場の推移

(2011年4月～2012年3月)

【米ドル・円 外国為替市場の推移】



※当該グラフで表示している為替市場は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2011年4月～2012年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績

2012年3月末日現在

【運用コメント】

当特別勘定資産は、日経平均株価の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資額を確保することを目的として、当社がエクイティ・インデックス・スワップ取引を行うことにより運用しました。
当社は、特別勘定に繰り入れた金額を用いてエクイティ・インデックス・スワップ取引を行い、日経平均株価のパフォーマンスによって変動する将来の追加年金原資額の給付を確保するための運用を行いました。

【日経平均株価の推移】 (2011年4月～2012年3月)



【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】 (各特別勘定の計算開始日～2012年3月末日まで)

特別勘定(契約年月日)	日経平均株価(終値)の上昇率	ステップアップ水準値		
		40%	80%	120%
2004年12月1日	▲ 9.1%	○	-	-
2005年1月1日	▲ 10.6%	○	-	-
2005年2月1日	▲ 13.5%	○	-	-
2005年3月1日	▲ 15.1%	○	-	-
2005年4月1日	▲ 9.0%	○	-	-
2005年5月1日	▲ 8.6%	○	-	-
2005年6月1日	▲ 12.1%	○	-	-
2005年7月1日	▲ 14.4%	○	-	-
2005年8月1日	▲ 17.9%	○	-	-
2005年9月1日	▲ 23.3%	-	-	-
2005年10月1日	▲ 23.5%	-	-	-
2005年11月1日	▲ 31.0%	-	-	-
2005年12月1日	▲ 35.5%	-	-	-
2006年1月1日	▲ 35.7%	-	-	-
2006年2月1日	▲ 34.6%	-	-	-
2006年3月1日	▲ 39.3%	-	-	-
2006年4月1日	▲ 41.7%	-	-	-
2006年5月1日	▲ 37.5%	-	-	-
2006年6月1日	▲ 31.1%	-	-	-
2006年7月1日	▲ 32.5%	-	-	-
2006年8月1日	▲ 37.3%	-	-	-
2006年9月1日	▲ 35.8%	-	-	-
2006年10月1日	▲ 39.4%	-	-	-
2006年11月1日	▲ 35.8%	-	-	-
2006年12月1日	▲ 40.7%	-	-	-
2007年1月1日	▲ 41.7%	-	-	-
2007年2月1日	▲ 43.7%	-	-	-
2007年4月1日	▲ 42.2%	-	-	-

- ・記載の「上昇率」とは、計算開始日における日経平均株価の終値と、2012年3月末日時点における日経平均株価の終値とを比較した数値です。(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。この日が東京証券取引所の休業日にあたる場合には、前営業日となります。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
- (1) 計算対象期間中に日経平均株価の上昇率がステップアップ水準値(日経平均株価上昇率40%・80%・120%)に到達した場合は、その時点で上昇率(40%・80%・120%)を用いて計算された株価指数連動追加年金原資額が確保されます。
- (2) 計算対象期間中に日経平均株価の上昇率がステップアップ水準値に一度も到達しなかった場合は、据置期間満了日における上昇率を用いて計算された株価指数連動追加年金原資額が確定します。
- ((2)で且つ、据置期間満了日における上昇率がマイナスであった場合は、株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。)
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・記載の上昇率はあくまでも2012年3月末日時点における上昇率であり、将来の日経平均株価の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2011年4月～2012年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定資産評価額

2012年3月末日現在

特別勘定(契約年月日)	特別勘定資産評価額(米ドル)
2004年12月1日	14,877.28
2005年 1月1日	153,622.53
2005年 2月1日	49,318.85
2005年 3月1日	260,541.38
2005年 4月1日	573,255.53
2005年 5月1日	610,880.40
2005年 6月1日	710,221.05
2005年 7月1日	1,315,524.21
2005年 8月1日	1,060,082.90
2005年 9月1日	46,570.32
2005年 10月1日	871.45
2005年 11月1日	27,212.54
2005年 12月1日	11,050.27
2006年 1月1日	742.23
2006年 2月1日	8,550.64
2006年 3月1日	333.77
2006年 4月1日	310.16
2006年 5月1日	192.78
2006年 6月1日	693.35
2006年 7月1日	257.19
2006年 8月1日	57.97
2006年 9月1日	86.05
2006年 10月1日	119.34
2006年 11月1日	31.56
2006年 12月1日	28.81
2007年 1月1日	43.66
2007年 2月1日	94.56
2007年 4月1日	312.64
合計	4,845,883.42

- ・記載の特別勘定資産評価額は、特別勘定ごとの2012年3月末日時点における合計値となっています。特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- ・金額の単位未満は切り捨てています。
- ・記載の特別勘定資産評価額は、株価指数の推移・変動性、金利情勢、及び解約・減額等による特別勘定の積立金額の払い戻しなど諸要因によって変動します。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2011年4月～2012年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

《参考情報》 本保険契約の予定利率および連動率

特別勘定(契約年月日)	適用予定利率	基本年金原資保証率	連動率A(I型)
2004年12月1日	3.85%	110%	34.70
2005年1月1日	3.85%	110%	34.90
2005年2月1日	3.85%	110%	40.20
2005年3月1日	3.85%	110%	41.00
2005年4月1日	3.85%	110%	38.80
2005年5月1日	4.25%	115%	34.20
2005年6月1日	3.85%	110%	39.80
2005年7月1日	3.85%	110%	41.20
2005年8月1日	3.85%	110%	39.40
2005年9月1日	3.85%	110%	35.50
2005年10月1日	3.85%	110%	32.60
2005年11月1日	3.85%	110%	32.90
2005年12月1日	4.25%	115%	27.40
2006年1月1日	4.25%	115%	27.50
2006年2月1日	4.25%	115%	27.00
2006年3月1日	4.25%	115%	26.00
2006年4月1日	4.25%	115%	25.00
2006年5月1日	4.25%	115%	26.90
2006年6月1日	4.80%	120%	20.00
2006年7月1日	4.80%	120%	32.20
2006年8月1日	4.80%	120%	24.20
2006年9月1日	4.80%	120%	23.75
2006年10月1日	4.80%	120%	36.00
2006年11月1日	4.80%	120%	21.80
2006年12月1日	4.25%	115%	17.00
2007年1月1日	4.25%	115%	25.00
2007年2月1日	4.25%	115%	23.80
2007年4月1日	4.25%	115%	29.00

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>